

# 平成31年度 第3年次編入学学生募集要項

高等専門学校、短期大学の卒業者及びそれらと同等以上の学力を有するものと認められた者を対象に、豊かな教養と高度な専門教育を行ない、複合技術に熟達した優秀な技術者を養成するために編入学学生の募集を行ないます。

## 募集学科及び募集人員

募集学科	募集人員		合計	
	推薦編入学入試			一般編入学入試
	学校推薦	自己推薦		
システム工学科	10名		10名	20名

## 編入学時期及び編入学年次

編入学の時期は平成31年4月とし、第3年次へ入学するものです。

## 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、「推薦編入学入試」と「一般編入学入試」の方法で実施します。

「推薦編入学入試」に関する事項は2頁に、「一般編入学入試」に関する事項は3～4頁に、両編入学入試に共通する事項は5～8頁に記載しています。

## 試験日程等の概要

	推薦編入学入試	一般編入学入試
出願期間	平成30年5月8日(火) ～5月10日(木)	平成30年6月11日(月) ～6月13日(水)
試験日	平成30年5月25日(金)	平成30年6月28日(木)※
合格発表	平成30年6月1日(金)	平成30年7月6日(金)
入学確約書提出期限	平成30年6月29日(金)	平成30年9月28日(金)
入学手続期間	平成31年3月下旬(予定)	

※受験者多数の場合は、6月28日(木)に筆記試験のみを実施し、6月29日(金)に面接を行うことがあります。なお、29日に面接を行う場合は、出願期間終了後、3日以内(土日祝日を除く)に本学部のホームページ(<http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/>)で周知します。

# 推薦編入学入試

## 1. 出願資格

合格した場合、入学を確約できる者で、学校推薦、自己推薦それぞれの要件を満たす者。

### ○学校推薦

高等専門学校又は短期大学を平成31年3月までに卒業見込みの者で、学業成績が上位に属し、出身学校長又は学長が責任をもって推薦できる者。

### ○自己推薦

次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲があり、かつ、高等専門学校を平成31年3月までに卒業見込みの者。

- (a) 本学大学院システム工学研究科進学・修了後に、和歌山県または大阪府で就労し、地域産業の発展に貢献する意欲のある者。
- (b) 理数系科目または志望するメジャーに関連する専門教育科目の学力に優れた者（数学オリンピック、物理オリンピックや全国高等学校総合文化祭（自然科学部門）などの入賞なども含みます）。
- (c) 「ものづくり」（コンピュータプログラム、Webページなどのデジタルコンテンツも含みます）に関連した創作活動や各種コンテスト等において、各種団体等で表彰を受けた者、またはこれらの活動チームの統率や技術スタッフとして運営に積極的に携わった者。
- (d) 修学生活におけるさまざまな活動を積極的に行った者。

（注）(b)、(c)、及び(d)は参考となる資料（紙媒体に限ります）があれば添付してください。

## 2. 出願期間

平成30年5月8日（火）から5月10日（木）17時まで【必着】

## 3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類等を総合し、100点満点で評価し判定します。

### (1) 入試の実施日時及び場所

日 時：平成30年5月25日（金）13時10分より

場 所：和歌山大学北1号館（システム工学部）

## 4. 合格発表

平成30年6月1日（金）10時

合格者の受験番号を北1号館（システム工学部）1階に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵便で送付し、学校推薦の場合は推薦学校長あてに合格発表掲示の写しを郵便で送付します。また、システム工学部ホームページ（<http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。（掲載期間：合格発表日の正午から、1週間後の17時まで）

※これは本学部が情報提供の一環として行うものであり、公式の発表は、掲示もしくは合格通知で行います。また、回線や機器の状態により、閲覧できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

## 5. 入学確約書の提出

合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学確約書」（合格通知書に同封します）を提出してください。

提出期限：平成30年6月29日（金）17時【必着】

## 6. その他

推薦編入学入試に出願し不合格となった者は、本学部の一般編入学入試を受験することができます。

なお、本学部の一般編入学入試を受験する場合は、改めてこの募集要項に記載する所定の手続により出願しなければなりません。〔出願期間：平成30年6月11日（月）～6月13日（水）〕

# 一般編入学入試

## 1. 出願資格

次の(1)～(8)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校、短期大学又は大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を取得した者又は平成31年3月までに学士の学位を取得する見込みの者。
- (3) 他の大学に2年以上在学(休学期間を除き、平成31年3月までに2年在学見込みを含む)し、62単位以上を修得した者(平成31年3月までに修得見込みを含む)。
- (4) 大学入学資格を有する者で、専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であるもの)を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者。
- (5) 大学入学資格を有する者で、高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者。
- (6) 外国において短期大学又は4年制の大学及びこれらに相当する大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者。
- (7) 外国において、4年制の大学又はこれに相当する大学に2年以上在学し(休学期間を除き、平成31年3月までに2年在学となる者も含む)、当該大学の卒業必要単位の2分の1以上を修得した者(平成31年3月までに修得見込みの者を含む)であって、かつ、当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者(平成31年3月までに修了見込みの者を含む)。
- (8) 大学入学資格を有する者で、外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程をわが国において修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者。

(注) 出身学校及び出身大学における所属学科は問いません。

## 2. 出願期間

平成30年6月11日(月)から6月13日(水)17時まで【必着】

## 3. 入試方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類200点、学力検査(筆記試験)200点の合計400点満点で評価し判定します。

### (1) 入試の実施日時及び場所

日 時：平成30年6月28日(木) ※時刻は、「(2) 試験の実施時刻と内容」を参照。

場 所：和歌山大学北1号館(システム工学部)

## (2) 試験の実施時刻と内容

志望第1メジャー	試験科目① 9:10～10:40 (90分)	試験科目② 11:10～12:40 (90分)	面接 13:40～
機械電子制御	数 学	物 理	※面接集合時刻は、 必ず受験票で確認 してください
電子計測			
応用物理学		化 学	
化 学			
知能情報学		情報処理※ (英語を含む)	
ネットワーク情報学		「環境」に関する 論 述 試 験	
環 境 科 学			
環 境 デ ザ イ ン		情 報 処 理 ※ (英語を含む)	
メディアデザイン			
社会情報学			

※情報処理は、英和辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。

## 4. 合格発表

平成30年7月6日（金）10時

合格者の受験番号を北1号館（システム工学部）1階に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を郵便で送付します。また、システム工学部ホームページ（<http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。（掲載期間：合格発表日の正午から、1週間後の17時まで）

※これは本学部が情報提供の一環として行うものであり、公式の発表は、掲示もしくは合格通知で行います。また、回線や機器の状態により、閲覧できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

## 5. 入学確約書の提出

合格者は下記の期限までに、和歌山大学長あてに「入学確約書」（合格通知書に同封します）を提出してください。提出しない者は、本学部に入学的意思がないものとして取り扱います。

提出期限：平成30年9月28日（金）17時【必着】

# 共 通 事 項

## 1. 出願方法等

### (1) 出願書類等

推薦編入学入試（学校推薦・自己推薦）	一 般 編 入 学 入 試
<b>編入学願書 写真 受験票</b>	本学部所定用紙に所要事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm。脱帽、上半身無背景のもの）を指定欄に貼付してください。 編入学願書裏面の所定欄に「振込金受付証明書（C票）」又は「収納証明書」を貼付してください。
<b>推 薦 書</b>	本学部所定様式により、学校推薦では出身学校長又は学長が作成したもの。自己推薦では本人が作成したもの。
<b>志望理由書</b>	本学部所定用紙により、入学志願者が作成したもの。
<b>卒業見込証明書</b>	<b>卒業又は修了（見込）証明書</b> 出身学校長又は学長が発行したもの。（出願資格（2）、（3）、（7）に該当する者を除く。） なお、出願資格（4）に該当する者は、以下のいずれかの書類を添付してください。 (a) 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類。 (b) 専門士の称号の付与が認められた専門課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類。
<b>調 査 書 又は成績証明書</b>	学校推薦の場合は調査書（本学部所定用紙）、自己推薦の場合は成績証明書。いずれも出身学校長又は学長が作成したもの。
	<b>学位授与（見込）証明書</b> 大学評価・学位授与機構が発行したもの。（出願資格（2）に該当する者のみ）
	<b>在学期間証明書</b> 本学部所定様式。（出願資格（3）、（7）に該当する者のみ）
	<b>最終学校の成績証明書</b> 出身学校長又は学長が発行したもの。
	<b>履修科目の一覧表</b> 現在、履修中の科目がある者のみ必要。ただし、学業成績証明書に記載されている場合は不要。（7）に該当する者は、卒業必要単位数がわかる資料（履修手引等）の写しと日本語訳を添付すること。（出願資格（3）、（7）に該当する者のみ）
<b>検定料 30,000円</b> （右のいずれかの方法で納入してください）  （注）出願書類受領後は、入学検定料の返還はできません。	① <b>金融機関</b> 別添の振込依頼書により金融機関の窓口にてお振込ください。 検定料納入の際に交付される「振込金受付証明書（C票）」を願書の所定の欄に貼付してください。 ② <b>コンビニエンスストア</b> 下記の支払期間中にお支払いください。 支払方法等につきましては、必ず下記HPでご確認ください。 検定料納入の際に交付される「収納証明書」を願書の所定の欄に貼付してください。 <b>【支払期間】</b> ・推薦 平成30年5月1日（火）0:00～5月10日（木）15:00 ・一般 平成30年6月1日（金）0:00～6月13日（水）15:00 <b>【支払方法等】</b> <a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a> （右のQRコードからもアクセスできます）
	<b>【支払方法等】</b> 
<b>封 筒 （受験票交付用）</b>	本学部所定の封筒に、入学志願者の受信場所住所、氏名、郵便番号を明記し、362円切手（速達料含む）を貼付してください。
<b>宛 名 票 （選考結果通知書等送付用）</b>	本学部所定の用紙に、入学志願者の受信場所住所、氏名、郵便番号を明記し、提出してください。
	推薦編入学入試に出願し、不合格となった受験者が一般編入学入試に出願する際は、改めて上記の出願書類等を全て提出してください。

## (2) 出願方法

入学志願者は、「(1) 出願書類等」に示すものを一括して本学所定の封筒に入れ、所定の期日までに下記の提出先まで持参又は郵送により提出してください。

願書を郵送する場合は、本学所定の封筒により「書留・速達」にて郵送してください。

なお、窓口を持参する場合は、9時から17時の間で受け付けます。

また、学校推薦編入学入試に出願される場合は、所属の学校から学校長名で一括して「書留・速達」にて郵送してください。その際、一括する封筒は各校で用意し、表面に「システム工学部第3年次編入学（推薦編入学入試）入学願書〇名分在中」と朱書きしてください。

## (3) 出願書類の提出先及び問い合わせ先

和歌山大学学務課学務第三係（システム工学部担当）

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-8021（直通）

## (4) 出願に際しての注意事項

- ①出願書類に不備のあるときは、受理しません。記入漏れや誤記のないように十分注意してください。
- ②受理した書類及び納付済の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、検定料納付後に書類を提出しなかった者、出願が受理されなかった者、誤って二重に納付した者については、検定料を返還しますので、出願期間終了後、1週間以内に上記(3)の問い合わせ先に連絡してください。
- ③出願後の志望第1メジャーの変更は認めません。
- ④出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤出願後、「受信場所」に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑥出願に要する書類以外で、審査上必要な書類を請求する場合があります。
- ⑦身体に障害等を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、試験の1ヵ月前までにあらかじめ本学部へ問い合わせてください。

## 2. 受験上の注意

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- ・受験票に記載する集合時刻を厳守してください。集合時刻に遅れた場合は、受験を放棄したものと見て、取り扱うことがあります。（ただし、筆記試験で遅刻した場合は、試験開始後20分に限り受験を認めます。遅れた場合でも、試験時間は延長しません。）
- ・筆記試験の受験には、筆記用具が必要です。筆記用具や時計などの貸出は行いません。

## 3. 入学手続

### (1) 入学手続きについて

合格者には入学手続きに関する書類を平成31年2月中旬に送付する予定です。

また、入学手続期間は、平成31年3月下旬の予定です。

### (2) 入学金及び授業料

(a) 入学金 282,000円

(b) 授業料 267,900円〈前期分〉

上記記載の金額は、平成30年度のもので、平成31年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

（注）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

#### 4. 編入学後の単位認定について

既修得単位の認定については、本学部の定めるところにより、当該出身学校のカリキュラム及び修得した科目を考慮して行いますが、場合によっては、認定し得る単位が限定されることがあり、**3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります**ので、履修中の科目はできるだけ多く単位を取得するようにしてください。

なお、修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍の4年を超えることはできません。

#### 5. 入試情報の開示及び入試成績の本人開示

##### (1) 入試情報の開示

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

- ・ホームページに開示（ただし、入学者数については次年度確定後）

##### (2) 入試成績の本人開示

###### ① 試験成績（得点・評価）

- ・開示方法等

◇受験者本人からの請求により開示します。

###### 【窓口での受付】

申請書（本学所定様式）に記入のうえ、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- ・本学受験票（原本） ※確認後返却します。

###### 【郵送による受付】

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封のうえ、必ず受験者本人が郵便（特定記録）で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

- 長形3号の返信用封筒（簡易書留郵便料として402円分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの）
- 申請書（本学所定様式）
- 本学受験票（原本） ※確認後返却します。

◇開示時期……平成30年8月20日から10月10日まで（郵送必着）

窓口での請求の場合は同期間内の月～水曜日（祝祭日を除く）、9時～17時

◇開示場所（請求先）…学務課学務第三係（下記問い合わせ先）

###### ② 調査書（成績評価及び出欠の記録）

- ・閲覧のみ可（開示時期・場所は試験成績の開示時期・場所に準じる。）

##### (3) 入試情報の問い合わせ先

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

和歌山大学学務課学務第三係 TEL 073-457-8021（直通）

## 6. その他

- (1) 受験票等が試験の3日前までに到着しない場合には学務課学務第三係まで問い合わせてください。
- (2) 募集要項及び一般編入学入試の過去問題（過去3年間分のみ）は、学務課学務第三係にて配布しています。入手ご希望の方は、ホームページを参照の上、ご請求いただくか、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。
- (3) 出願時のデータや、試験実施結果、入学手続きの状況等の個人データを入試に関する調査・研究のために利用することがありますので、あらかじめご了承ください。なお、これらの個人データを利用する場合も、個人を特定する内容の資料や個人を特定できる資料を作成することはありません。

### 【募集要項等の請求先及び編入学に関する問い合わせ先】

和歌山大学学務課学務第三係（システム工学部担当）

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

TEL 073-457-8021（直通）

E-mail [sysgakumu@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:sysgakumu@center.wakayama-u.ac.jp)

ホームページ：<http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/>

【ホームページ】





# 入学案内

# 学 部 の 紹 介

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科（情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科）を1学科（システム工学科）へと改組をおこないました。システム工学科には、10教育研究領域（メジャー）を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

## ・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることのできる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

## ・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

## ・メジャー：応用物理学

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

## ・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

## ・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

## ・メジャー：ネットワーク情報学

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

### ・メジャー：環境科学

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

### ・メジャー：環境デザイン

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

### ・メジャー：メディアデザイン

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

### ・メジャー：社会情報学

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

## 代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員（土木、建築、造園）、建築・住宅、環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、ゲーム・アミューズメント

# 学 生 生 活

## 1. 入学料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人もしくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合

## 2. 入学料徴収猶予の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、平成31年7月末日（入学年度の7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで）を限度として入学料の納入を猶予する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人もしくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

## 3. 授業料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、各学期毎に、本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

- ①入学前1年以内において本人の学資を主として負担する者（学資負担者）が死亡した場合
- ②入学前1年以内において本人もしくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

※後期授業料免除申請のお知らせは、6月末頃学生センター前の掲示板等にて行います。

## 4. 奨学金

### (1) 日本学生支援機構の奨学金

(申込資格)

学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難である者。

(奨学生の決定)

本学が人物・健康・学力・家計の申込基準を満たしている奨学金申込者の中から選考の上、日本学生支援機構に推薦します。同機構で審査のうえ、採用を決定します。

(奨学金の種類)

- 〈第一種奨学金（無利子）〉……貸与月額 自宅通学 30,000円, 45,000円から選択  
自宅外通学 30,000円, 45,000円, 51,000円から選択
- 〈第二種奨学金（有利子）〉……貸与月額 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円  
から選択

(注) 貸与月額については、平成29年度実績であり変更されることがあります。

### (2) 地方公共団体等の奨学金

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体や各種団体等が扱っている育英奨学金制度があります。これらの募集のほとんどが4～5月に集中しています。その他、大学に直接募集のないものもありますので、各自、各団体や出身の都道府県等に問い合わせるようにしてください。

### (3) 家計急変奨学金

本学には、学資負担者の家計急変（失職、破産、倒産、病気、死亡もしくは地震・風水害の被害等）により修学を継続することが経済的に困難となった学生で、他の経済的支援が受けられない学生に対し、学費・生活費を援助することを目的とした奨学金制度があります。

- ・貸与額：無利子貸与とし、一時金10万円、20万円、30万円より申請者が選択する。
- ・返還期間：貸与された翌月から卒業後3年以内。

- ・申請に際しては、連帯保証人の選任が必要となります。
- ・申請後は審査の上、採用を決定します。

## 5. 学生傷害保険等

### (1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

学研災は、学生が正課中、学校行事中、通学中、教育・研究のために大学施設内にいる間及び課外活動（インターンシップ、介護体験、教育実習、保育実習、ボランティア活動、クラブ活動）中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

（注）本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

### (2) 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）【任意加入】

学研賠は、学研災に加えて任意に加入できる保険で、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中<sup>(注1)</sup>及びその往復等で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を補償する制度です。

（注1）この保険での「課外活動」とは、大学の規則にのっとり所定の手続きにより、インターンシップまたはボランティア活動の実施を目的とした組織として承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップまたはボランティア活動をいいます。これ以外のクラブ活動中の事故は保険金支払いの対象とはなりません。ただし、正課または学校行事に合わせてその日のクラブ活動（大学が禁じているもの等は除きます。）に参加する場合、その住居と活動場所となる施設の間を合理的な経路及び方法により移動中に行った行為は対象となる活動に含まれます。

### (3) 学研災付帯学生生活総合保険（学総）【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

### (4) 学研災付帯海外留学保険（付帯海学）【任意加入】

付帯海学は、派遣留学や海外研修など、大学が関与する留学において、学研災に付帯するかたちで加入できる海外旅行保険です。私費留学やプライベートでの旅行は加入の対象となりませんのでご注意ください。

## 6. 学生寮

本学には、次のとおり学生寮が設置されています。

区 分	所 在 地	定 員	1室定員	新入生入寮可能人員	備考
学生寮（男子）	和歌山市栄谷930番地 （大学構内）	120人	1人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建
学生寮（女子）		50人	1人	約10人	

寄宿料は、月額4,300円となっています。なお、寄宿料は、和歌山大学学生寮管理運営規則の改正により変更することがあります。

寄宿料以外に、毎月寮生活に伴う光熱水料、インターネット使用料等、15,000円程度の負担があります。

## 7. 下宿・アパート

市街地及び大学周辺のアパート・マンション等の斡旋は、和歌山大学消費生活協同組合（073-456-4155）で行っていますので、各自問い合わせてください。なお、平均的な物件の家賃は月額35,000～45,000円程度です。

## 8. ノートパソコン等の情報端末の活用と準備について

本学では、履修登録やレポート及び卒業論文の作成・提出、授業資料の閲覧などでパソコンを使用する機会が多くあります。平成29年度より更なる学修環境の向上のため、個人所有のノートパソコン等の情報端末を授業でも活用する取組を開始しています。このための準備（購入等）が入学後に必要となります。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

[http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/essential\\_pc.html](http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/essential_pc.html)

QRコード

